

(((((技術・行政情報)))))

工業技術院・今年度の補助金を決定 100件 総額 58億円

通産省工業技術院はこのたび昭和56年度の「重要技術研究開発費補助金」および「石油代替エネルギー関係技術実用化開発費補助金」の開発テーマと補助金交付先を選定し発表した。

この制度は、前者でわが国産業構造の知識集約化を促進するための基礎となる重要技術に、後者では、新規性があり、技術水準が高く波及効果の大きいとみられる実用化開発プロジェクトに対し助成するもので、本年度はそれぞれ84件と16件が選定され総額58億円の助成が決定された。

〔重要技術研究開発費補助金〕

1. 膜処理技術を利用した省エネルギー牛乳濃縮の工業化研究
(日本酪農機械)
2. ハイブリッド式長期蓄熱型太陽熱温水器の研究
(川村理化学研究所)
3. 新メタノール製造技術の工業化試験
(東洋エンジニアリング, 三井東圧)
4. 濃度差エンジンヒートポンプに関する研究試作
(ダイキン工業)
5. セラミックエンジン部品の工業化試験
(京都セラミック, いすゞ自動車)

〔石油代替エネルギー関係技術実用化開発費補助金〕

1. 風力エネルギー熱・動力変換システムに関する実用化開発
(小松製作所, 東レ, 島津製作所, 松下精工)
2. 高率バイオガス生産システムの実用化開発
(住友重機械エンバイロテック)
3. LNG冷熱利用による動力発生システムの実用化開発
(関西電力)
4. 小型ガス冷房機の実用化開発
(東京ガス, 大阪ガス, 東邦ガス, 久保田鉄工, ダイキン工業, 松下電器, ヤマハ発動機,

ヤンマーディーゼル, 石川島播磨重工, 小松ゼノア, 東京三洋電機, 東芝, 前川製作所, 三菱重工, 三菱電機)

5. 中小水力動力エネルギー回収システム技術の実用化開発

(新エネルギー財団, 電源開発, 田中水力機械, 富士電機, 明電舎, 荏原製作所, 東芝, 日立製作, 三菱電機, 三菱重工, 小松製作, 栗本鉄工, 久保田鉄工, 川崎重工, 住友電工)

(大阪工業技術試験所 中根正典)

地域別電気料金10月から始動

政府は10月から原子力発電施設等周辺地域交付金制度を発動、初の交付金30億円を原電立地市町村の住民企業を対象に一戸当たり電気料金で月300～900円割り引く勘定で交付金を出す。

支払い方法について通産省資源エネルギー庁と自治省の話し合いがついたもので、国一県一パブリックアクセプタンスの第三者機関一電力会社の経路で交付金流れ、電力会社が電気料金を徴収する段階で住民に交付するというもの。

対象は、運転中、工事中ならびに60年度末までに着工する原子力発電施設などで、約80万戸。いわゆる地域別料金であるが、直接住民に利益をもたらすため原電立地の促進に効果が期待され、西独でもこの日本の方式を採用する機運が高まっている。

(日刊工業新聞社 兼子次生)